

## 日本トリム Presents 第10回全国女子選抜フットサル大会九州大会 ＜競技上の注意＞

九州フットサル連盟審判部

### 1. 競技規則について

公益財団法人日本サッカー協会(以下「JFA」という)制定の「2017/2018フットサル競技規則」で実施する。詳細については大会要項に依ることとする。

### 2. ユニフォーム及び用具について

- (1) ユニフォームは、JFAユニフォーム規程に準じた正副2着(FP・GK 共)を必ず着用すること。
- (2) GKがトラウザーズを着用する場合は、裾などにファスナーや危険物がついてないものを使用すること。
- (3) 試合で使用するユニフォームとビブスは、試合開始 70 分前に行うマッチコーディネーションミーティングで決定します。チームの代表者は、FP・GKの正副2着(シャツ・ショーツ・ストッキング・トラウザーズ)と交代要員が着用するビブス2色を持参すること。マッチコーディネーションミーティングの時に持参していないユニフォームの着用は認めません。
- (4) 張り番号は四辺を確実に縫い付ける等適切に処理されているものに限り認めるが、四点止め、テープ止め等は一切認めません。
- (5) 半袖のシャツの下にアンダーシャツを着用する場合は、シャツの袖の主たる色と同色でなければなりません。パワープレーにおけるGKユニフォームにも適用されるので注意すること。
- (6) ストッキングはすね当てを完全に覆い、膝のところまで上げて着用すること。
- (7) シューズは、靴底の接地面が飴色もしくは白色あるいは無色透明のフットサル用シューズのみを使用可能とする。スパイクシューズや接地面が着色されたもの(ノン・マーキングシューズであっても)の使用は認めない。
- (8) 競技中にシャツの裾を出す又は出さないに関わらず、ユニフォームは安全で見苦しくなく且つマネーある着用を心がけること。
- (9) パワープレーのGKのユニフォームは、その試合に登録されたGKユニフォームのシャツと同一のシャツを着用し、その競技者のFPユニフォームと同じ背番号を付けること。
- (10) 交代要員を含め競技者の用具は、試合前にチェックします。試合中に禁止されている装身具を着用していた場合、その競技者は外すように注意されます。
- (11) 爪については、長さ等により競技者として出場できないと判断されることがあります。
- (12) その他も含めて、JFAフットサル競技規則第4条を順守すること。

### 3. ピッチへの入場について

両チームは、試合開始5分前にオフィシャル席前に登録選手全員が集合すること。氏名及び背番号・すね当て等の用具及びJFA発行の選手証のチェックをしますが、不備がある場合は入場できません。また、そのために、競技開始時間を遅らせることもないので注意すること。

#### 4. 選手席・ベンチについて

- (1) ピッチ内(ベンチ、選手席を含む)には、その試合に登録された役員及び選手以外は入れません。
- (2) 接触や衝撃により人体等に影響が及ぶおそれのある選手及び役員のベンチ入りは認めません。
- (3) 競技中、監督及び役員、交代選手は必ずベンチに入り着席すること。
- (4) 競技中、交代選手はユニフォームのシャツの色と明らかに異なる色のビブスを着用すること。ユニフォームの上に防寒用としてベンチコートやジャージなどを着ている場合も同様とします。
- (5) テクニカルエリアは、自チームベンチの前にマーキングし設けます。その際、ベンチに入れる役員の中からただ1名のみが競技者に戦術的指示を伝えることができます。
- (6) 交代要員のウォーミングアップは、指定されたウォームアップエリアで行うこと。その際、ボールは使用できません。ウォームアップエリアはウォーミングアップ以外には使用できませんので、ゲームを観戦する、応援するあるいは指示を与えるなどの行為をしている場合は注意を致します。
- (7) テクニカルエリア内では電子通信機器等の使用は認めません。
- (8) 競技中に必要があってテクニカルエリアから離れる交代要員またはチーム役員は、第3審判の許可を得ること。
- (9) タイムアウト終了のブザー後は円陣等を組まず、速やかにリスタート出来るよう心がけること。

#### 5. その他

- (1) 競技中に負傷者が出た場合、チーム役員は主審の許可を得たもの最大2名までがピッチに入ることが出来ます。ただし、負傷の程度を見て負傷者を運び出すためであり、ピッチ内での治療は許されません。
- (2) 競技中、ピッチ内での飲水はできません。飲水は、タイムアウト中か自由な交代の際ベンチの決められた場所で行うこと。又、飲水は水のみとしスポーツドリンク等は事前に指定された場所で摂取すること。
- (3) タイムアウト中の交代は認められません。タイムアウト終了のブザーが鳴った後、5人の選手がピッチ内に入った後に正しい交代を行うこと。(インプレーになる前に交代できます。)
- (4) ハーフタイムで交代する場合は、後半の開始前に前半終了時の競技者が一度ピッチ内に入り交代の手続きを行うこと。但し負傷を伴う場合は第3審判に通知することで交代を完了することとする。
- (5) 試合前、ハーフタイム中、試合後は周囲の人に対してリスペクトし、トラブル等を起こさないこと。